

下松中学校区

ようこそ下松小学校へ～CSルームで生け花教室～

公民館で実施している生け花教室を、下松小学校のCSルームで行っていただきました。子どもたちは、完成した生け花を鑑賞して、温かい気持ちになりました。



生け花は、花の種類が少なくシンプルに見えますが、すごく美しいと感じました。花が大好きになりました。これからも学校で活動してくれたらうれしいです。(6年生児童)

下松中央公民館主事 松尾 珠美さん
公民館講座の皆さんが学校に入り地域を届ける、学校と地域をどうつなげていくのかをコーディネートしています。子どもたちにはこうした交流を通して心豊かに育てほしいです。

下松小学校

末武中学校区

下松キラリ発見～素敵なお下松市にするために～

下松市の土地利用や産業などを調べ、市の発展のために必要なことや自分たちができることを考えました。Googleスライドにまとめ、地域の方を招いてプレゼンをしました。



この勉強を通して、下松市のよいところや名物などを知ることができました。自分たちの描いた未来が実現できるようにがんばっていきたいです。(6年生児童)

末武公民館運営委員 島田 和昌さん
この活動を通して下松市のよさを知り、自分たちが住んでいるまちにますます愛着をもってほしいと思いました。さらにこのまちをよくするために、自分たちでできることに取り組んでほしいです。

公集小学校

久保中学校区

地域の名人から教わろう～野菜づくりにチャレンジ！～

生活科で、地域の野菜づくり名人から野菜の育て方を学びました。名人の畑を見学したり、苗の植え方を教わったりしました。1年を通して教わり、深い関わりができました。



瀬来さんは、野菜のことなら何でも知っています。野菜を育てたり、お世話をしたりすることも上手です。瀬来さんのように、みんなが食べて笑顔になれる野菜を私もつくりたいです。(2年生児童)

山田地区地域住民 瀬来 義秋さん
最初は不安もありましたが、子どもたちの賑やかな声や明るい笑顔に、元気をもらいました。今後も、機会があれば関わっていきたくです。また野菜づくりに挑戦し、おいしい野菜を育てましょう。

久保小学校

笑顔あふれるもちつき大会～地域とともに～

中庭田での米づくりも12年目になりました。中庭田推進委員の方と伝統的な米づくりを行い、子どもが収穫した餅米と、地域からいただいた餅米で、にぎやかに餅つきを行いました。



米づくりは大変だったけれど、地域の皆さんのおかげで今年は10kg以上も収穫できました。そのお米をみんなでついで、できたお餅はとてもおいしかったです。(5年生児童)

中庭田米づくり推進委員 内山 作郎さん
地域に田んぼがほとんどなくなった今ですが、子どもたちには、昔ながらの米づくりの工夫や苦労を体験して、米やものを大切にすることを伝えてほしいと願って活動しています。

豊井小学校

まちづくり、わたしたちの提案～地域を考える総合的な学習～

「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」をテーマに、下松市のまちづくりを学び、地域の方へのインタビュー等で課題を見つけ、自分たちのアイデアをまとめ発表しました。



地域の魅力や課題を再発見するよい機会でした。私たちの意見がまちの改善に繋がるなんてすごいと思いました。将来、私もまちづくりに協力できたら嬉しいです。(6年生児童)

花岡小学校学校運営協議会委員 原田 幸雄さん
まちづくりについて何もわからない状態から具体的な提案ができるまでに学習が進み、すばしかったです。これからも地域を知ること、たくさんの人と話して考えることを続けてほしいと思います。

花岡小学校

まちとともに生きる～ふるさとをきれいにする活動を通して～

末武川や公園の清掃活動を行い、身近な環境をきれいにしました。また、自分たちができる行動を考えたり、地域の人に環境美化を呼びかけたりしました。



これからはごみの分別にも取り組みたいです。家で使えるものを再利用したり、ごみを捨てないようにしたりするなど、家族でルールを決めています。(4年生児童)

学校運営協議会会長 小林 拓宏さん
中村で暮らす私にとっては、ありふれた場所も癒しの場所です。ここには有名な観光地に匹敵する感動もあります。皆さんが大人になっても、中村で生まれ育ったことを忘れないでください。

中村小学校

地域と学校を結ぶSネットの活動～活動する大人が子どもたちの教材となるように～

Sネットの活動の目的は、東陽小学校区の子供たちが、「東陽小学校で学んでよかった。ふるさとである東陽・切山地区に住んでよかった」と思える活動を行うことです。



ワクワク広場の池に住んでいるメダカ、トンボなどの生き物と触れ合うことが大好きです。広場の看板も谷さんと一緒に作っています。みなさんが楽しい看板にしたいです。(4年生児童)

Sネット会員 谷 佐恵子さん
Sネットのメンバーとして、地域の方に協力をお願いをしています。今年は、2年生が育てたサツマイモを調理し、一緒に食べました。「おいしかった」という子どもたちの声で、お腹もうれしさをいっぱいになりました。

東陽小学校

ものづくりのまちくだまつを歩いてみよう！～くだまつてくウォーク2021～

下松中と下松工業高校、下松高校とのコラボ企画。「ものづくりのまちくだまつ」の歴史を、子ども・地域の方・教職員の75名と共に辿り、下松を再発見した1日になりました。



自分の知らない下松のいろいろな場所に行くことができました。地域の方の話から下松に対する思いが伝わり、これを受け継ぎたくはないと思いました。(3年生生徒)

旗岡地区地域住民 古屋 厚子さん
企画の段階でCSコーディネーターさんから相談をいただき、参加者の目線で助言しました。このことで下松には、こんなに素晴らしい人や歴史があったことをあらためて知り、目から鱗です。

下松中学校

「めざす生徒像」策定にむけた熟議～学校・地域・大人・子どもの立場を超えて～

地域住民、保護者、教職員に、学校教育の当事者である生徒の代表も加わり、世代や立場を超えて「めざす生徒像」について共に話し合い、意見や考えを共有し、理解を深めました。



熟議をとおして、普段の話し合いでは得られない多くの意見がありました。また、地域の方のお話を聞き、僕たちのことをいつも見守ってくださっていることを改めて感じました。(2年生生徒)

米川地区主任児童委員 中川 満由実さん
生徒の皆さんが活発に発言し、物怖じせず発表していて感心しました。積極的な子、控え目な子など、各々の個性が活かせる活動を推し進め、楽しい学校生活の手助けをしたいと思います。

末武中学校

ガンバレ先輩！～イルミネーションで3年生にエールを～

『希望と夢』に向かって挑戦する3年生。エールを送るために、1、2年生が門松とイルミネーションを企画し、地域のみなさんと一緒に制作しました。



門松づくりやイルミネーション制作を通して、地域の方との交流ができました。地域の方に優しく教えていただき、完成した時は、大きな達成感を味わうことができました。(2年生生徒)

CS委員 河谷 紀美子さん
「3年生にエールを！」との思いを込めたイルミネーション制作。卒業生を含む多くの方が参加。「チーム久保」がまた一歩前進。心の中にも温かい光が灯った素敵な感動体験でした。

久保中学校